

## 平成23年度

### 第2回五城目町地域公共交通協議会 会議録

#### 【会議の日時・場所】

日 時 平成23年10月6日（木）午後2時00分より  
場 所 五城目町役場 4階 大会議室

#### 【協議案件等】

報告（1）平成22年度地域公共交通活性化・再生総合事業の補助金の額の決定について  
報告（2）乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績（6月～8月）について  
報告（3）面潟線バス路線の利用者数の調査について  
報告（4）面潟線バス路線の3者（秋田中央交通(株)・八郎潟町・五城目町）会議結果について  
報告（5）内川線バス路線の2者（秋田中央交通(株)・五城目町）会議結果について

協議（1）【第2次】五城目町地域公共交通総合連携計画（案）について  
協議（2）その他

#### 【出欠状況】

出席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	23名
欠席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	6名
事務局	別紙「委員出欠表」のとおり	6名

#### 【会議の内容・発言要旨】

午後2時00分開会

##### ○ 事務局（嶋崎まちづくり課長）

只今から平成23年度 第2回五城目町地域公共交通協議会を開会いたします。  
開会に先立ち、武田会長が挨拶を申し上げます。

##### ○ 武田会長

一言、ご挨拶申し上げます。

本日は、お忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。

本日の天気は曇り空でございますが、この1年、これまで天候にはずいぶん悩まされてきました。春先の横手・平鹿地区の豪雪、3月の地震、津波、原発事故、7月に入ってから、冷たい春の連続でなかなか暑くならず、そして8月に入ってから異常高温ということで、作物を作る人たちに

とっては大変難儀をしたと思います。

今日の会議ですが、1回目の協議会で、実績を報告せよ、また、内川線・面潟線については、赤字を出してまで運行していることについて精査して欲しいという意見がありました。又、五城目町地域公共交通総合連携計画の素案を協議していただき意見が出されました。今日は、計画（案）が出されているので協議していただきたいと思います。

ところで、9月25日、朝市で毒キノコが売られたということが取り上げられ、皆さんには大変ご心配をおかけいたしました。事案は、秋田市の夫婦が有毒のクサウラベニタケとイッポンシメジというシメジの一種を買ってイモノコ汁に入れて食べたら嘔吐などの症状があったということです。現在は健康を取り戻し、仕事にも就いているということですが、何しろ健康に関する事なので、心からお詫びいたしました。同時にホームページでお詫びし、販売した者は営業停止とし、他の販売者には十分注意していただくと共に町としてもチェックしているところです。10月15日は、「朝市きのこまつり」を予定しておりますが、これは予定通り実施いたしますので、たくさんの方々が足を運んで買い求めていただければ有難いと思います。

本日は活発な意見をお願いします。

○ 事務局（嶋崎まちづくり課長）

続きまして、この度、人事異動等や代表者の変更にもないまして、新たに委員となります2名の方々へ委嘱状を交付したいと思います。委嘱状は、町長に代わりまして副町長が交付いたします。

副町長は前の方へお願いします。それでは、五城目警察署の柴田委員様から順にお願い致します。

○ 副町長

（委嘱状を朗読、委員 五城目警察署 柴田栄氏に交付する。続いて、委員 東北運輸局秋田運輸支局 佐々木雅幸氏に交付する。）

○ 事務局（嶋崎まちづくり課長）

これ以降の会議の進行は、規約により会長よりお願いします。

○ 武田会長

では議事に入らせていただきます。議事に入る前に会議録署名員を選任いたします。どのように取り計らったらよろしいでしょうか。

○ 委員全員

（会長一任）

○ 武田会長

会長一任の発言がありましたので、私の方から指名させていただいてよろしいでしょうか。

○ 委員全員

（異議なし）

○ 武田会長

異議なしの声がありましたので、私の方から指名させていただきます。

本日の会議録署名員に、湖東総合病院 高橋敬司委員と、五城目町校長会 畑澤政信委員の2名を指名いたします。

それでは、次第に従いまして進めていきたいと思えます。

まず、報告事項についてですが、事務局より報告事項（1）平成22年度地域公共交通活性化・再生総合事業の補助金の額の確定について、ご報告よろしくお願ひいたします。

○ 事務局（大石）

報告事項（1）について、資料、スライドにより説明。

○ 武田会長

ありがとうございました。この件については、事故繰越しがされたという報告をしております。その後、ヒアリングで補助金の額が変更になったということですが、この件について何かご質問はありませんか。

○ 委員全員

（質疑なし）

○ 武田会長

ないようですので、次に進めさせていただきます。報告事項（2）乗合タクシー馬場目線と富津内線の運行実績（6～8月）について、事務局よりご報告をお願いします。

○ 事務局（大石）

報告事項（2）について、資料、スライドにより説明。

○ 武田会長

報告事項（2）について、ご質問、ご意見を受け付けます。

○ 委員全員

（質疑なし。）

○ 武田会長

それでは、次に進めさせていただきます。報告事項（3）面瀉線バス路線の利用者数の調査について、と、報告事項（4）面瀉線バス路線の3者（秋田中央交通(株)・八郎瀉町・五城目町）会議結果については、関連がありますので事務局より続けてご報告をお願いします。

○ 事務局（大石）

報告事項（3）、報告事項（4）について、資料、スライドにより説明。

○ 武田会長

この点について、もっと詳しく聞きたいというようなことはありませんか。

○ 委員全員

（質疑なし）

○ 武田会長

ありましたら、この後、協議（2）のその他でお話いただきたいと思います。では、報告事項（5）内川線バス路線の2者（秋田中央交通(株)・五城目町）会議結果について、事務局よりご報告をお願いします。

○ 事務局（大石）

報告事項（5）について、資料、スライドにより説明。

○ 武田会長

ただいまの説明について、質問を受付けます。

○ 委員全員

（質疑なし）

○ 武田会長

この件については、今後、あり方について、話し合っていかなければならないと思います。

では、本日の協議に入ります。協議（1）【第2次】五城目町地域公共交通総合連携計画（案）について、事務局より説明願います。

○ 事務局（大石）

変更部分は、資料に網掛けしてあります。内容については、1回目の協議会で説明してありますのでおさらいしながら変更部分についてお話ししたいと思います。

協議（1）について、資料、スライドにより説明。

○ 武田会長

6月の1回目の協議会に出した素案をもとに、皆さんの意見を反映させたという（案）になっていますが、これについて、もっとこうしたらいいのではないかという意見などありましたらお願いします。

○ 佐々木委員（(東北運輸局秋田運輸支局)

3月まで、東北運輸局で連携計画を精査する仕事をしてきました。これまで、五城目町の連携計画も見させていただきました。このたびの(案)について、全体的なことを一つ、細かいことを一つ、話させていただきます。

6ページに4つの目標が掲載されておりますが、目標は、達成されたかどうかを判断するためのものですから数値を入れた方が検証しやすいと思います。公共交通の利用者の数、土曜・日曜日の利用者は何人で、何人増加させるのか、具体的に数値を入れると後で検証されやすいと思います。

又、公共交通の空白地域の解消を図る、とありますが、公共交通を運行させれば解消になるのか、運行させ、それを維持して継続させることが大切なので、解消を図るというだけでなく、利用者は何人見込む、利用者の満足度はどうかなどを盛り込むと検証しやすくなると思います。

細かいことを一つお話しますと、スクールバスを切り離したいということですが、生活交通とスクールバス、二重に走らせると余計に経費がかかることが考えられます。これで本当に行政の方で経費が少なくなるのか検証する必要があると思います。完全に切り離すのではなく、朝は大きい車両で混乗にし、日中は小さい車両を走らせるのを考えてもいいと思います。

○ 事務局（大石）

今後、検討して参りたいと思います。スクールバスについては、二重投資になることは十分考えられるので今後検討したいと思います。以前に話し合ったことですが、乗合タクシー馬場目線・富津内線を走らせる時に、大型車両だと道が狭い、細かいところに入っていけないので空白地域になってしまうということもあったので、小路にも入っていける小型車両にしたという経緯があります。

○ 武田会長

空白地域に関してはもっと突っ込んで具体的なものにして欲しいということですので、今後検討させたいと思います。

○ 猿田委員（五城目地区町内会長会）

馬場目地区・富津内地区の乗合タクシーに対しての声は、満足度が高いという数字が出ております。一方、公共交通空白地域の住民は不便だという声があるので早く空白地域の解消をして欲しいと思います。目安としていつ頃になれば空白地域がなくなるのか、数字で示せば住民も安心するのではないのでしょうか。不便を感じている地域は不満を持っているという声も受けていかなければならないのではないのでしょうか。

○ 武田会長

長期スパンで計画を立てていかなければならないと考えています。早急に検討したいと思います。他に何かありませんか。

○ 佐々木委員（合資会社五城目タクシー）

運行を委託されている立場としては、実情を申し上げる訳にはいきませんが、現状を話せば、タクシー事業所としてこれ以上収益が上がることは考えられません。現状維持でいければいいと思っ

ているところです。乗合タクシーの運行を委託されて、もちろんよい点もありますが、タクシー業務については、馬場目地区だけをみると8割減となりました。積算の根拠はありませんが、感覚的に利用者数、配車状況からみて、乗合タクシー対象地域の普通タクシー利用者は激減していると感じます。その状況の中、今後タクシー業務をどう維持していくか問題です。これについても、この計画がどのように発展していくか関心があり、公共交通空白地域をカバーしていく体制作りをしていかなければならないところです。

中央交通さんは中央交通さんなりの地域における体制を変更するだろうと思います。今後どうしていけばいいのか、計画が提示されたところで、それに対応していかなければ乗り遅れてしまいます。早めに示して欲しいと思います。

○ 一関委員（秋田中央トランスポート株式会社）

只今の佐々木委員の意見のとおり、秋田市内でタクシー業務をしておりますが、大変な現状を痛切に感じております。内川線、面潟線の問題について、成功事例として馬場目線、富津内線が出されておりますが成功事例というのが気になります。公共交通空白地域をどうしたらいいのか我々にとっても大きな問題です。地域のニーズに応えていかなければならないのですが、アンケートをとっても全てをくみ上げるのは不可能ですので、生の声をくみ上げるのを重視していくことが大切だと思います。ここに町内会長さんがおられますが、町内会長とか地域の生の声を取り上げてそれを事務局で揉んで計画に取り入れて欲しいと思います。

○ 石井委員（五城目町 PTA 連合会）

子どもの数は減っていく、年配者は増える現状の中で公共交通は必要になってきます。でも現在乗合タクシーの料金は、中距離で片道400円、往復で800円かかっている訳ですが年配者にしてみれば高いと思います。利用者はメリットがないと乗らないと思うので、例えば、買物すれば料金が半額になるとか何か工夫が必要だと思います。

○ 武田会長

秋田市では、ワンコインで乗れるようですが、何か特別なものを工夫するという意見がありました。いろんな角度から検討したいと思います。

○ 土橋委員（株式会社あつたか五城目）

石井委員の話もなるほど聞いておりました。あつたか五城目では平成21、22、23年度の3年間、社会実験を実施しています。面潟線廃止のことが出ておりましたが、21年には森山地区を対象に社会実験を実施しました。アンケートの「困っていることは何ですか？」には「移動の足がない」というのが多く、又、「買物はどうしていますか？」には「歩いてくる」というのが主で、朝市や町に歩いてくるのは大変だなと感じました。高齢者を買物難民と言っていますがアンケートによってたくさんの買物難民がいることを感じました。谷地中町内に対しても同じように実施しましたがその点、不便と答えた人は一人もいませんでした。イオンスーパーセンターが近いからだと思います。

連携計画については、朝市の活性化につながるものにしてほしいと思います。そうなれば、買物

難民も少なくなると思います。社会実験は、国の補助事業だったので、タダでやれたわけで、スタンプリナーとか抽選券を配ったりして、楽しむことができ、参加者も何か品物をもらおうと喜びますが、経費をかけてやるとなると難しいと思います。活性化につながるような工夫をお願いしたいと思います。

○ 畑澤委員（五城目町校長会）

学校関係ということでスクールバスに関してですが、多くの児童がスクールバスで通っています。25年度には馬場目小学校が統合し、杉沢地区の児童も通うこととなりますが、通学に要する時間が長くなりますので考慮しなければならないと考えています。又、低学年と高学年では下校時間が違ってきます。朝はたくさんの児童が利用しますが帰りは半数以下になります。有効的なスクールバスの使い方も考えて欲しいと思います。

○ 武田会長

きめこまかな運行ということですが、今後、検討していきたいと思います。他にありませんか。

○ 宮城委員（五城目町老人クラブ連合会）

老人クラブとしては、バスがなくなって不便になったという声があります。五城館で毎週火曜日に「ふれあいサロン」が開かれみんなで語り合う場所を提供していますが、あまり来ません。なぜ来ないのかと言うと「足がない」ということです。乗合タクシーをどうして利用しないのか、もっと調査しなければならないと思います。予約、登録が不便だという声もあります。そういう意見をもっと反映させたらいいと思います。

○ 草皆委員（馬場目地区町内会長会）

地域に住んでいると、乗合タクシーの利用者がのびてこない現実があります。移動手段として都合と時間が乗合タクシーとマッチしないということからだろうと思いますが、自分の都合というのは、人それぞれです。このシステムが自分の都合にマッチしないというので、地域に住む兄弟が乗せていくとか近所の助け合いの現実があります。

○ 武田会長

連携計画（案）6ページの4つの目標について、定量的な指標で記入した方が事後の検証、評価がしやすいのではないかという意見がありました。これについては、以降の協議会へ資料を提示し皆さんの議論の場に付していくことにしたいと思います。又、連携計画（案）7ページのスクールバスについて、一般需要と切り離してということでしたが、混乗についても検討してはどうかという意見もありました。これについても、議論の場を設けて検討する必要があると思います。以降の協議会で、実際の代替交通、現状のバス、乗合タクシー、また以前からある公共交通空白地域について、実際の運行形態や運行場所、方法、利用者を増やすための方策について検討し、より具体的な内容を協議していきたいと思います。連携計画（案）を、これらの条件を付して承認できないものでしょうか。

○ 委員全員  
(異議なし。)

○ 武田会長  
ありがとうございます。皆さんの意見をもとにしっかりした連携計画にしていきたいと思います。  
協議(1)については承認としてよろしいでしょうか。

○ 委員全員  
(異議なし)

○ 武田会長  
協議(2)その他、について、何かありませんか。

○ 佐々木委員(東北運輸局秋田運輸支局)

仙台東北運輸局で3年間、五城目町の取組みを見てきました。五城目町の取組みは、東北運輸局管内で、とてもよくやっていると評価できました。実績で1便あたり4人から5人ということですが、他の地区では1便あたり2人以下がほとんどで、その点でも評価が高い事例になっております。また、登録料、利用促進キャンペーンの実施、協賛金の徴収など地域が一体となって取り組んでいることも高く評価されています。今後も維持していくことはもちろん、活性化していただきたいと思います。総合事業は終わりましたが、新しい補助金制度もどんどん活用してやっていただきたいです。

○ 武田会長  
東北運輸局から高い評価を得たということは大変うれしいことです。新しい補助金制度も検討したいと思います。  
他に何かありませんか。

○ 委員全員  
(特になし)

○ 武田会長  
以上で、本日の協議は終了といたします。  
今後の予定などの連絡がありましたら、事務局からお願いします。

○ 事務局(大石)

連携計画については、只今条件を付して承認いただいたものと解釈しております。今後、付された条件への対応をしてみたいと思います。今後、地区懇談会を開いて、連携計画の報告、代替交通や今後の公共交通に望む運行形態などについて意見を伺う機会にしたいと思っています。

協議会の開催予定としては特に期日は決まっていますが必要に応じてご案内しますのでよろしく申し上げます。



○ 武田会長

委員のみなさんから、協議事項以外に、事務局に対し何かご意見、ご質問はありませんか。

○ 委員全員

(質疑なし)


○ 武田会長

以上をもちまして、平成23年度 第2回五城目町地域公共交通協議会を終了します。  
ありがとうございました。

午後3時40分閉会

会議録署名員

( 高 橋 敬 司 )

高橋敬司 

会議録署名員

( 畑 澤 政 信 )

畑澤政信 